

・地域の面的再生・地域活性化につながる多様なサービスの提供

## 地域経済活性化への取組み(「ぎふまちづくりセンター」の設立と活動内容)

(金融機関名)十六銀行

1. 動機(経緯)	<p>・平成13年4月に当行と岐阜大学の産学連携による「地域活性化研究会」での意見交換を踏まえ、岐阜県・岐阜市・岐阜商工会議所の参画、支援を得て「ぎふまちづくりセンター(以下、「まちセン」という。)」が発足。</p> <p>・行政にとって協働のまちづくりが重要な課題となる中で、これからの地域のまちづくり活動を支援していく中間支援組織として、産学官民の連携をもとにした組織やまちづくりに関心を持つ市民や専門家とのネットワークの構築、更には多様なまちづくり団体の交流・連携の場を提供する組織が必要であったこと。</p> <p>・当行にとっても、地元企業等に対する貸出業務等だけでは、自身の存立基盤となる地域の活性化を図るのは難しい時代になってきているとの認識のもと、そのための効果的な手法として産学官連携事業の重要性を鑑み、地公体・地域住民への新しい支援の試みとして「まちセン」を位置づけ、その活動を支援していくこととした。</p>
2. 概要	<p>・「まちセン」は、岐阜広域圏域で活動している住民・研究者・企業・行政などが、協働的關係と役割分担を行いながら、総力をあげて21世紀に持続的に発展できる新しい地域社会を築くことを目的としている。</p> <p>・「まちセン」の主な活動内容は、センター独自の調査・研究活動 学習会活動 出版活動 ネットワークを活用した情報提供 公開セミナー・シンポジウム 受託調査・研究活動、を行っている。</p> <p>・当行は、こうした活動に参加する中で産学官民協働のまちづくりを積極的に支援している。</p>
3. 成果	<p>&lt;平成18年度の活動実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会員状況...個人会員 317名、団体・法人会員 49</li><li>・学習会活動...5サロン、1ワークショップ、4研究会開催 延べ125回 810人参加</li><li>・来訪者...延べ408人</li><li>・相談活動...まちづくり等に関する相談 75人</li><li>・情報提供活動...「会報ぎふまちづくり」の発行(毎月)、ホームページの更新、サロン・ワークショップの開催、公開セミナーの開催</li><li>・市民活動支援...御鯡街道プロジェクト、まちづくり団体交流会</li><li>・受託事業...滞在型観光資源調査、加納城跡地活用まちづくり支援事業、長良川フォーラム2007、第5回岐阜まるごと環境フェア2006、ぎふイルミネーションフェア2006</li></ul>
4. 今後の課題	<p>・岐阜市では国へ申請していた「岐阜市中心市街地活性化基本計画」が平成19年6月に認定され、現在、岐阜市のまちづくり施策が計画に沿って本格的に展開されている。こうした中で「まちセン」の今後の取組みとして、政策提言集団としての役割を如何に果たしていくかが課題であり、そのための「まちセン」のあり方や組織体制の見直しを検討する時期にきている。</p>

# ・地域の情報集積を活用した 持続可能な地域経済への貢献の事例



いつも身近に  
**十六銀行**

## <まちづくりへの取り組み>

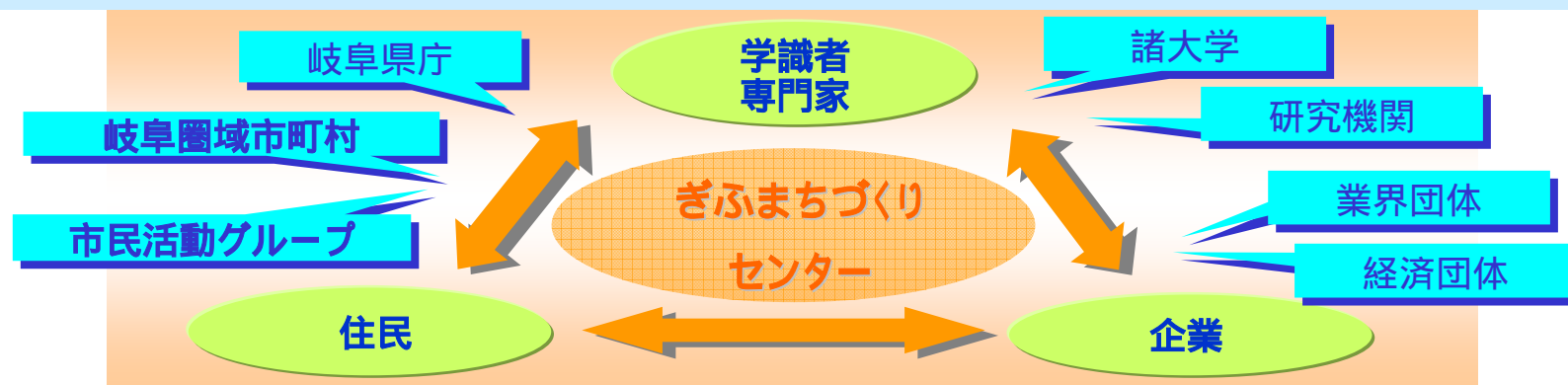
地域が抱える問題解決には、住民、企業、行政、さらに専門的職業人や学識経験者による自由な意見交換の場、学習の場が必要



地域の「知恵」と経験を集約する 「まちづくりセンター」設立の必要性

## <センターの概念図>

住民・企業・学識者(専門家)による「民主導型の開放組織」で「行政組織」との協働的關係により、実効性を目指す新たな「まちづくり」サポート組織として位置づける



## <センターの事業内容>

